
西日の時

空野 いり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

西日の時

【著者名】

空野 いり

【あらすじ】

日常に自殺願望が入り混じって不可思議な世界に踏み入れた、一人が君に出会い…

望みなら沢山在る。

あれ食べたいとか

いい人を見付けたいだつたり

もつ寝たいとかも

取り敢えず、限りなく果てもなく望みに塗れています。
ここ最近の望みは

熔
け
た
い

と言ひ事。

そんな事考える様になつた原因は沢山在るだらうナビ、理由は全く

分からぬ。

見当さえも付かない。

しかも、大して知能がある訳でもないので難しい話なんかを持ち出しても理解出来ない。理解もしたくない。

慰めの様で何故か惨めになる。授業中にも拘わらず他人にとつては関係ない事を必死になつて考えて、ノートに書き込んでいた。

これも、惨めだ。

あれこれ色んな事をやつて、もう、ここには居たく無くなつて、ゆっくり吹かれる風に避けらがなら、去つていく。

居場所は何処に在る？

どうすれば見付けられる？

その答えは自分で見付けなくては為らなくて、でも見付け方なんて知らない。

誰か、教えて。

声になれない、為ることが出来ない、叫びは呼吸によつて無意味になつた。そんなゴミみたいな毎日を過ごして、望みが増して飲み込まれ仕舞いそうになつていた。

誰か救つて…

こんなにも愚かな存在を…

そんな時に現れた君は眩しい過ぎた。

救われないこの存在に自由で捕まえられない君は憧れだし、嫉妬した。

それより、遙かに繋がつていて欲しいと望んだ。

「これからさあ、どうなるのかね」

あまりにも近くに在る空に吸い込まれやすい様に、餌を求める金魚の様に空を仰いだ。

「分からぬ」

苛立ちを覚えるような穏やかな声を響かせた。

あまりの矛盾した考えに浸蝕されきつた身体は、相変わらずだ。でも、生きなくてはならない、この世界は生きにくいけれど。君が隣で話してくれて、笑ってくれるかな？ そうであれば、生きにくらい世界でも生きてる。

でも

それでも

約束は果たさなきやならない

「自殺したくないだ。…殺して、下さい。」

「良いよ。そしたら僕も後を追つて死ぬけどね。」

「有難う。ばいばい…」

「安心して、苦しいのは一瞬だけだから

遠くで君の声がした。

きょうひなう。

君なんて嫌いだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3069a/>

西日の時

2010年11月25日02時52分発行